

eco's 通信

2009
12月
vol.199

自信と誇りをもって、明るい未来へ前進！！

12月5日、第37期「励みの会」が開催されました。お客様のために、山陰興業の発展のために、私たちが考え付いたり工夫したアイデアを発表することで、社長に私たちの日々の活動を理解してもらったり、社員同士がお互いに刺激しあい、喜びや問題点を共有して、さらに未来への発展に取り組んでいく会です。



力強い発表をした社員の皆さん。右より、大國、福岡、伊達山、高橋、吾郷社員。



『廃油収集プロジェクト』 (エネルギーサポート事業部収集係)

お客様の視点にたったの優位性を考える。そして、お客様のお役に立つサービスとは何か検証していく。



『安全な職場を自分たちで作る』 (エネルギーサポート事業部製造係)

以前より、安全確保のための改善活動を行ってきたが、今期事業発展計画で「安全」が重点項目に挙げられた。改善箇所を拾い出し、そのうち約半数は改善できた。今後、自分が働きやすくするためにも更なる安全を目指す。



『地下タンクFRP内面ライニング施工に伴うタンクの開口、清掃』 (工事部)

タンク清掃工事は当社の得意分野であり、ライニング前の清掃工事を実施することでタンク清掃業務を拡大していく。また、より安全で効率よく作業できるように改善する。

講評

今日発表したことを実行して初めて、成果として現れ、新たな課題が生まれてきます。今の課題を解決して、次の課題発見に向かって一歩ずつ前進しましょう。(安原)

プロジェクト進行段階で、想定外の問題が発生することがある。前へ進むか否か迷うことがある。しかし、必ず克服するんだ！という強い信念をもって粘り強く成功に結びつけてほしい。(山本)

前向きな内容で力強い発表でした。新しい商品がでてくるのはとてもいい環境で、このような風土が育ってきていることは大変うれしい。(千賀)

常に危機感をもって、自分たちの地域を守ってほしい。また、「山陰興業なら大丈夫だ！」と言われるように、安全第一。(山根)



繁盛店訪問

ヤマトオートワークス株式会社 米子工場 様

〒683-0102鳥取県米子市和田町1310-2

TEL 0859-48-2310

FAX 0859-48-2311

<http://www.yaw.co.jp/>



天井が高く、広々とした作業場です。 周囲は
工場地帯で、環境対策も万全です。

365日対応

以前、三次市に工場を構えていましたが、
山陰地方には当社の整備工場がありませんで
した。このたび米子市にオープンのはこびと
なりました。

営業エリアは東は大山町から、西は大田市
まで、細長い山陰地方をカバーします。365日
稼働です。「土、日曜日にやっているほうが
お客様に喜んでいただけます。計画性をもっ
た、ムダのない作業で、価格・サービス面で
お客様に還元できます。」と、お客様の立場
にたった考えの沼尾工場長様です。

お客様とは年間でメンテナンス契約を行
い、スケジュールを1ヶ月単位で組みます。計
画的な入庫によって最適な人数のメカニック
を配置するため、ムダがありません。正確で
迅速な車検・整備の実施で、お客様の稼働を
止めず、コストダウンをご提供しています。



三次市から米子市に転勤
になられた沼尾工場長
様。「海が近く、海産物
がおいしい」と、米子市
が気に入ったようです。



当工場を支えるメカニックの皆さん。
上段左より、湯田様、久行様、和田様。
下段左より、奥林様、脇山様。

沼尾工場長様の野望

“山陰地方に、スーパーワークスを出店したい。”

スーパーワークスとは、究極の効率を追求
した工場のことです。入庫から出庫まで、一
筆書きのワンウェイ方式でメンテナンスを行
うものです。受入点検→整備→検査→完成・
納車と流れ操業的な整備を行います。設備の
工夫をし、作業にムダがありません。会社の
考えを取り入れた特徴ある工場なのです。
スーパーワークスは24時間体制で、生産性が
あります。

ヤマト運輸の整備工場として、ヤマト運輸
の成長を支えてきた実績をもとに、広範囲な
運送業者様等のお役に立つことで、さらに強
い支持がいただけるものと確信します。

(長野)

紅一点。皆さんのアイドル
的存在の永岡様。



りっぱな廃油タンクを置いてい
ただいています。工場各所から
圧送式で廃油が入ります。



2009年8月1日 米子工場オープン
業務内容：自動車整備・車検・修理
スタッフ：9人
営業時間：8:00～20:00、 年中無休





[新商品]

...新たな清掃工事への取り組み

ガソリンスタンドの地下タンク清掃

腐食劣化による危険物の流出を防止するために、FRPライニング施工が増えています。その中で当社は得意分野であるタンク清掃と、それをするためのタンク開口工事を行いました。タンク清掃は普段実施していることですが、開口時には可燃性ガスの滞留に特に気をつけます。

タンク清掃ができるのは、当社の強みなので、今後このような展開がはかれれば、どこへでもいって施工します。



タンク穴あけ作業中。

今月の改善

油抜き配管にキャップをつけました

貯蔵タンクに設けてある油抜き配管が開放型になっているため、バルブにゴミが咬んだ場合には漏油する危険性がありました。キャップを取り付けました。

より安全な工場を目指していきます。

(伊達山)



ワンタッチ金具(写真上)と、金具をはずしたところ



安全講習

車の冬支度

雪道での車の運転は、慣れによる油断、スピードの出し過ぎは禁物です。「急」のつく操作をしてはいけません。ゆとりある運転をしましょう。

今回は、車の冬支度ということで、タイヤ、バッテリー等のメンテナンスについて学びました。

タイヤ...タイヤは保管していると空気が抜けるのでチェックします。バルブから漏れる可能性もあります。タイヤ交換時、バルブも交換するといいいでしょう。タイヤの保管は、紫外線の当たらない、暗くて涼しく乾燥しているところがよい。ホイール付の場合、平らなところに平積みで保管します。タイヤのみの場合、つぶれて変形しないよう縦置きで保管します。

バッテリー...乗用車の場合、寿命は通常2～3年。次の症状が出たら、要注意です。・エンジンがかかりにく(セルの勢いが弱い)・バッテリー液の減りが早い・アクセルを戻すとライトが暗い・パワーウィンドウの開閉が遅くなる。

バッテリーを交換したら、日付シールを貼ります。

LLCの効果... 冷却システムの金属部分の腐食を防ぎ、その進行をくいとめる。 冬季の凍結を防ぎ、エンジンブロックやラジエータの破損を防ぐ。 オーバーヒートを防ぐ。

防錆のための各種添加剤成分が消耗し、防錆効果が低下してしまうので、定期的な交換や洗浄と添加剤の補充が必要です。(一部抜粋) (長野)

出雲地区防災安全協会視察研修

11月12日～13日、コスモ石油(株)坂出精油所と国土交通省地方整備局の防災設備の見学をさせていただきました。

坂出精油所は広大な敷地であるため、バスで移動しながら説明を受け、主に消火設備の見学でした。敷地の傾斜を岸側につけ、万が一、油が流出しても、油が瀬戸内海へは流出しにくいようにするなど、可能な限りの対策が講じてありました。

国土交通省では、出雲は地滑りが起きやすい地盤であることを教えていただきました。

見学、懇親会を通して、普段お会いすることがない会員の方々とお話しでき、とても良い経験になりました。(伊達山)



コスモ石油(株)坂出精油所にて
消火設備の見学



一斉清掃の実施

藤原君の草抜きにびっくりしました。

左上写真は一斉清掃が始まってすぐの写真です。そして、その下の写真のように進みます。

終盤の右下の写真では、草がほとんど残っていません。なかなかここまで



きれいに草を抜くことができないと思います。本当に本当にびっくりしました。

(恩村)



「絶対相手にYESと言わせる心理作戦」を 読んで

私はこの本を読み、とても勉強になることばかりだった。内容は非常に分かりやすく、人の心理がよくわかった。この本の中で広告の話がおもしろかった。広告にはイメージ広告と製品の品質などを示す広告の2種類がある。日本人はイメージの広告に弱く、ドイツ人などは理詰めの広告に弱いといわれている。

スナイダーとデボノという研究者によれば、他人が自分をどうみているかに興味関心のある人にはイメージに訴える説得が良く、自分自身に興味関心のある人には、論理的な説得がよい、と述べている。イメージ広告は人の感性に訴える「すばらしい手触り」「色彩豊かな」等。品質の広告は論理的なもので「製品の品質の確認」「何千回もの試験に耐えた」等。

広告の話を読んで、三ツ矢サイダーの広告が浮かんだ。品質を訴えているものだ。子供の飲み物だが、大人をターゲットにしている。大人が子供に飲ませたくなるようにしているんだと思った。

(山口)



江津市での風景。まるで外国にいるかのようです。

社長が薦める今月の一冊

脳が変わる生き方

茂木健一郎著 PHP研究所刊

才能がなくても 何歳になっても成長できる



《根拠のない自信が必要です。脳は、生まれつき回路が決まっているわけではない。自分が最大の力を尽くして、やっとできることを成し遂げることが、脳にとって、自分自身を変える最大のきっかけになる。P79,86》

はやり言葉に「脳が真っ白になった」があります。もちろん私も、今まで経験をしたことのないことが突然起こったときに、先が見えなくて、不安感を持ったり、たじろぐことがあります。

私は、毎朝起きたときと就寝する前に、中村天風師の「君に成功を贈る」を一章ずつ読んでいます。一瞬たりとも、不安感や恐怖感を脳の中に貯めないで、前向きに生きたい。もっと素晴らしい人生を送りたい。と思っているから、天風師の教えを、私の脳に植え付けておきたいのです。

この脳学者は、根拠がなくてもいい。まず自分自身に自信を育てよと、そして心を豊かに生きなさいと教えています。私は、この考えをずっと信じることにします。

天風師の教え「いついかなる時といえど、心の尊さと強さと正しさと清らかさを失っちゃいけないよ」を読むと、自信がわきます。

(山根)

元氣の出る言葉

中村天風師

人生というものは、そこに進歩と向上があつてこそ、生きがいを感じ、勉強もし、努力もする

(「君に成功を贈る」より、日本経営合理化協会刊)

心の態度をどんな場合があつても、尊く強く清く正しく、この心の態度を常にきびしく、自分自身が守っていくことが大事だと説いている。
自分の心の態度を積極的にするということだ。
人生は波乱に満ちているが、それを乗り越えていかなければならない。
(長野)





工事部 ちょっといい話 №3

『安全から安心へ』

「T社様を訪問。担当者様より、嬉しいお言葉を頂いた。」

「山陰興業さんの対応に、とても助かっています。本当によく働くね。動きがいいね。」

“安全”に作業してくれているので“安心”です。山陰興業さんの作業を見てみると安心しますよ。」

常に、迅速に、誠実に、お客様の立場に立ち、気配りを忘れない社員たち。

当たり前なことではあるけれど、どんなときも自然にそう動けることは決して容易なことではありません。山陰興業の社員として誇りを持ち、全力でその責任を全うする姿は、お客様の目にも気持ちよく、かつ頼もしく映り、その印象的な姿から生まれる“信頼”はとても大きいはずです。

一方、社員達にとっても、頂いた仕事から得る達成感、何にも代えがたいものなのでしょう。

彼らとしては当たり前のこととして自分の責任を果たしただけなのに、あのようなお褒めの言葉まで頂けるとは・・・ちょっぴりくすぐったい、恥ずかしささえ感じながらも、ひいてはそれが彼らの大きな「やりがい」「自信」となるはず。そして、彼らの姿がそのまま当社のイメージとなり、山陰興業への大きな信頼へと繋がる。

これからもお客様が安心できる「安全作業」を念頭に、全社員一丸となり、より信頼される山陰興業に育てていきたいものです。

工事部 ちょっといい話 №4

『油流出事故』

「すぐにお客様のお役に立ちたい」と思いつつ、とっさのご依頼には、それが難しい状況であることは少なくありません。

それでも、迅速に、かつ誠意をもってベストを尽くすことこそが、お客様を笑顔に、ひいては当社の信頼・実績upに繋がることに改めて気付かせていただいても過言ではありません。

ここ2～3年、関わっていなかった、ある設備管理担当者・K様から、突然、悲痛の依頼が舞い込んできた。「油流出事故」

重大な環境破壊を引き起こすことにもなりかねない、もはや一刻を争う緊急事態だ。

とっさにK様の脳裏に浮かんだのが、以前、漏洩事故の際に緊急対応した当社だったのだとか。

別の指定業者があるにも関わらず、あえて当社に掛け込んでこられた理由など考えている猶予などない。すぐに改修工事に取り掛かれるよう、一斉に横のラインと手を取り、素早く対応。もちろん、精一杯の細かな気配りの上で、施工予定はすぐに立ち、一件落着。その迅速な対応に御満足していただいたK様から頂いたお言葉は・・・「次の点検は山陰興業さんに是非またお願いしたい！」

お客様に与えた確かな安心感から生まれた大きな賜物・・・それは当社への絶大なる信頼感だった。

蔵書新着状況

- | | | |
|-----------|-------|--------|
| ・脳を活かす仕事術 | 茂木健一郎 | PHP研究所 |
| ・脳が変わる生き方 | 茂木健一郎 | PHP研究所 |

編集後記

不況で旅行や外食を控える「巣ごもり」ブームが起きている。単なる節約ではなく、ちょっとぜいたくをして、普段の生活をより充実させようというのが特徴です。我が家も贅沢ではありませんが、食生活の充実のため、圧力鍋を購入しました。もともと料理することは嫌いではなかったので、いまではそれを楽しんでいます。調理時間が短く、経済的だし、料理の幅も広がりました。趣味と実益を兼ねて、おいしいものを作って家族一緒に食べて、ささやかな幸せを感じます。
(長野)

発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

エコス
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長 長野

E-mail : h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今月の賞品は、出雲そばです。締切は12月末です。奮ってご応募ください。

Q：当広報誌は、平成22年1月に200号を迎えますが、創刊は何年何月でしょうか？

先月号の答えは「1611年」でした。抽選の結果、米子市尾添様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙（答）

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

原稿を公募します 本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。